

【1. ホームステイについて】

Q: どんな人達が来るのですか？

A: 代表に選ばれた 11 歳のこども大使と、彼らを引率してくるシャペロン(大人の引率者)がアジア太平洋の約 40 の国・地域からやってきます。みなさんは受け入れる国・地域を指定することができません。それは、どこの出身者であろうと好意的に受け入れていただき、差別や偏見のないこどもを育てていきたいという事業の趣旨からです。(ただし、こどもの性別や、引率者受け入れなどの希望はお聞きいたします。)

日本に来るのが初めての子どもいればそうでない子どもいます。日本の生活や文化に触れたいという参加者とぜひお互いの文化交流を楽しんでください。

Q: 参加するこども大使は、誰がどうやって決めているのですか？

A: 参加する国・地域の教育省や教育センターなど、APCC の定めた公的な機関がそれぞれの基準に沿って選考しています。国によって選考基準は様々で成績優秀な子、芸術活動に優れている子など様々です。しかし、そうは言ってもまだ 11 才前後のこどもたち。日本ででの生活になかなか慣れないこどももいます。

また、この事業に参加するにあたり、海外参加者は登録料として参加費の一部を負担することが条件になっています。

Q: 受入家庭の両親が共働きの場合でもホストファミリーの応募はできますか？

A: ご両親が共働きの場合でも、ご応募いただけます。

ただ、やって来るこども大使の国によっては、12 歳以下の児童を、保護者がいない状態で長時間置いておくことを法律で禁止している国があります。今までにお受け入れいただいたご家庭では、ご自身のお子様と共にグループのホストファミリーに放課後預かってもらった、親戚やご近所の方に協力してもらった、などの例がありました。

普段の生活と同じようにしていただいても構いませんが、その際こどもたちに危険の無いようご配慮いただければと思います。その他ご不明な点があれば、ご相談ください。

Q: こども大使(またはシャペロン)に、個室を用意しなければなりませんか？

A: 特別なおもてなしをする必要はありません。ぜひ家族の一員として日常的な生活の中に迎え入れてください。こども大使もその点は理解しています。学校で同年代のこどもたちと遊ぶ、お子さんと一緒に並んで寝る、お手伝いするなど、いつもの生活がこども大使にとっても、受入家庭のお子さんにとっても楽しい思い出になるようです。(イスラム教などでは、お祈りの時間に 1 人にしてあげる配慮が必要な場合もあります。)

シャペロン(引率者)の受け入れの場合は、お互いのプライバシーのために、個室を準備しているご家庭が多いようです。

Q: 英語が出来ないと応募は出来ないのですか？

A: こども大使の受け入れに関しては、英語力は問いません。

シャペロン(引率者)に関しては、日常会話程度の英語力をお持ちの方がいるご家庭にお願いしております。

日本語でいいので、「こんにちは、よろしくね。」とあいさつしましょう。にっこり笑顔であいさつすればお互いの緊張もほぐれ、「楽しくホームステイしよう！」という気持ちになるはずです。とは言え、遠い国から11歳という年齢で福岡へやってくるこども大使。家族の元を離れてよそのお宅に泊まるのは今回が初めて、という子もいるかもしれません。出国前の事前研修ではこども大使として福岡へ行く心構えをし、その目的を十分理解できていても、実際にホームステイがはじまると新しい環境に慣れるまでには時間がかかるかもしれません。そんなときにはこどもの気持ちをじっくり聞いて、まずは日本の家族となるみなさんがやさしく包んであげてください。伝えたいことは、身振り・手振りでも十分伝えることができます。(病気・事故など緊急の場合は、シャペロン(引率者)を通じて実行委員会・APCC事務局も共に問題解決に努めさせていただきます。)

Q: 学校登校とは、何ですか？

A: こども大使受け入れ家庭の、同年代のお子様(ホストフレンド)と一緒に小学校に通わせていただくことです。ホストファミリーとして受け入れが決定したご家庭には、後日小学校にご提出いただく『学校登校依頼書』という書類をお渡します。それを各学校へご提出ください。

ホストファミリーに応募した時点で『登校をお願いすることになるかもしれません』というお話を、担任の先生にされている方も多いようです。また、県内では毎年100を越える小学校にこども大使をお受け入れいただいておりますので、多くの小学校に受け入れの実績があります。

Q: 自分とは違った宗教のこども大使／シャペロンを受け入れることになった場合に注意することは？

A: 主な注意点は、食事(禁制食)とお祈りです。

一部宗教上の理由で食事や入浴などに配慮が必要な場合があります。滞在するこども大使のインフォメーションシート(自己紹介文)を事前にお渡しいたしますので、その子の宗教や食事に関する情報を事前に知ることができます。ただ、敬虔さの度合いについては、こども大使やシャペロン(引率者)の家庭環境等にもよって、例年大きな個人差があります。またホストファミリー決定後、同じ国のこども大使・シャペロン(引率者)を受け入れるホストファミリー同士が集まり、準備を行う集まり(国別ミーティング)を開催し、情報交換や経験者のお話を聞くこともできます。

Q: こども大使、シャペロンが、ケガや病気になってしまった時は、どうしたらいいのですか？

A: 海外からの参加者は、全員『海外旅行保険』に加入していますので、万が一、ケガをしたり病気になった時には補償の対象になり、ホストファミリーの負担は発生しません。

こども大使は、つつい自国での感覚で行動してしまったり、好奇心が旺盛で色々な物に手を出してしまい、思いもよらないトラブル(迷子や物損事故)やケガをしてしまうことがあります。事前に注意するように、ホームステイ開始前に全員に周知しておりますが、危険な行動等があった場合には、ご家庭のお子様と同じように注意していただいて構いません。ただし、歯科治療や喘息などの既往症の治療は保険適応外となります。

【2. 申し込み方法について】

Q: 自宅にパソコンやスマートフォンがないので WEB 申請ができません

A: 以下の場所に募集要項・申込用紙を設置していますので必要事項を記入の上、お申込みください。

《募集要項・申込用紙設置場所》

APCC 事務局、福岡市内各区市民センター・区役所、
福岡市市役所1階 情報プラザ、アクロス福岡 3F こくさいひろば

Q: 全員が写った家族写真がないのですが？

A: ご家族の雰囲気わかるものであれば、データや写真を加工・切り貼りしていただいて構いません。

WEB 申込では画像を 1 枚しか添付することができませんので事前に加工していただくことをお勧めします。

Q: 締め切りを過ぎても、受け付けてもらえますか？

A: 2月15日(金)18:00でWEB申込を閉じるため、18時以降はお申込みできません。

郵送の場合も同様 18:00 事務局必着となりますので、余裕を持ってご投函ください。

【3. 選考について】

Q: 選考になった場合はどのように選ばれるのですか？

A: 詳細は募集要項に記載しておりますのでご確認ください。

こども大使受け入れをご希望の場合は、来日するこども大使が 11 歳のため、**同年代(小 4～小 6、11 歳前後)**
が最優先になります。その他、頂いた申込情報を基に**総合的に**選考させていただきます。定員を上回るご応募を

頂いた際には、条件を満たしていてもご希望に沿えない結果となることがありますので予めご了承ください。

シャペロン(引率者)受け入れの場合は、こどもの有無や年齢は問いませんので受け入れ希望の性別をご記入の上
お申込みください。

Q: 結果はいつ分かりますか？

A: **2019年4月上旬**、に APCC 事務局より応募者全員に結果通知を郵送いたします。

Q: 英語を話せる国／英語圏の子を受け入れたいのですが？

Q: ○○の国・宗教の子を受け入れたい／受け入れをしたくないのですが？

A: 募集要項にも記載の通り、どの国のこども大使・シャペロンであっても、分け隔てなくお受けいただくことを応募の条件
とさせて頂いておりますので、**言語や宗教の希望はお受けしておりません。**

Q: ホストファミリー研修会などの行事には参加必須ですか？

Q: 各行事に出席できないと応募できないのですか？

A: きちんとホームステイについての情報を把握したうえで当日に臨んでいただきたいと思っていますので、ご参加頂こうお願いしております。やむを得ない事情がある場合(学校行事など)はご相談ください。

Q: 福岡県外に住んでいても、応募はできますか？

A: いいえ、ホストファミリーの受け入れは福岡県内在住のご家庭に限らせていただいております。

【4. その他】

Q: 都合が悪くなった場合、キャンセルは出来ますか？

Q: まだ7月の予定がわからないのですが？

A: 受け入れをお願いすることになった場合、キャンセルは極力無いようにお願いします。

ホストファミリーの情報は、受け入れることも大使やシャペロンへお伝えします。海外参加者は、日本のホストファミリーと会える日を楽しみに準備を進めています。ホストファミリー決定後、準備期間、受け入れ直前のキャンセルは、事業の運営に大きな支障をきたすと共に、楽しみしている海外の子ども達にも不安を与えることとなりますので、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

Q: ホストファミリーの受け入れに費用はかかりますか？

A: 受け入れが決定したご家庭には 1000 円の参加費の負担をお願いしています。これは、準備期間に開催される会場費、資料などの郵送費などに使用させていただいております。その他、ホームステイ期間中の生活にかかる費用(食費、交通費など)は各家庭でご負担頂くことになります。

Q: ホームステイ期間中、何をしたらいいのですか？

A: 特別なこと、おもてなしなどをして頂く必要はありません。海外の子どもにとっては、日本の家庭に入って生活すること、学校に通ったりすること、ホストファミリーや地域の人と交流したりすることなど、全てが初めての新しい体験となります。親戚や友人の子どもを受け入れるような感覚で、普段通りの日常生活をしていただいで大丈夫です。近所の公園に行ったり自転車で遊んだりすることが、子ども同士のよい思い出になるようです。また期間中には、県内各施設の割引やイベントなどのご案内をいたしますのでぜひご活用ください。

その他ご不明な点などがございましたら、お気軽に APCC 事務局までお問い合わせ下さい